

指定管理者による公の施設の管理運営状況

令和4(2022)年度

施設名	栃木県那須野が原公園
施設所管課	県土整備部都市整備課
指定管理者	那須野が原公園指定管理グループ ・公益財団法人栃木県民公園福祉協会(法人番号9060005007605) ・栃木県造園建設業協同組合(法人番号8060005000511)
指定期間	平成31(2019)年4月1日～平成6(2019)年3月31日

1 施設の概要

施設所在地	那須塩原市千本松801-3
施設の概要	①指定管理者による管理面積 56.9ha(ファミリープールを除く) ②主要な施設 テニスコート、フィールドアスレチック、そり遊び広場、オートキャンプ場、サンサンタワー、わんぱく広場、はらっぱ、緑の相談所、貸自転車、バッテリーカー、ファミリープール
業務内容	①公園の維持管理に関する業務 ②有料公園施設の利用の許可に関する業務 ③公園の運営に関する業務

2 収支の状況

令和4(2022)年度

(千円)

収入			支出		
指 定 管 理 ※2	指定管理料	83,600	指 定 管 理 ※2	事業費	11,069
	利用料金収入	45,498		管理運営費	80,879
	その他収入※1	8,417		人件費	31,255
				その他支出※1	7,229
	合計	137,515		合計	130,432
指定管理業務収支差額①			7,083		
自主事業			16,743		
自主事業収支差額②			▲489		
収支差額(①+②)			6,594		
備考(※1 その他収入の主なものを記載) ・雑収入 7,862千円			備考(※1 その他支出の主なものを記載) ・租税公課費 7,229千円		

※2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

令和3(2021)年度(前年度)

(千円)

収入			支出		
指 定 管 理 ※2	指定管理料	83,600	指 定 管 理 ※2	事業費	8,191
	利用料金収入	34,004		管理運営費	70,471
	その他収入※1	14,173		人件費	35,613
				その他支出※1	7,373
	合計	131,777		合計	121,648
指定管理業務収支差額①			10,129		
自主事業			12,931		
自主事業収支差額②			▲1,188		
収支差額(①+②)			8,941		
備考(※1 その他収入の主なものを記載) ・負担金 106千円 ・利息 1千円 ・雑収入 14,066千円			備考(※1 その他支出の主なものを記載) ・租税公課費 7,373千円		

※2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

3 利用状況

	令和3(2021)年度 (前年度)	令和4(2022)年度
公園利用者	271,524人	299,397人

施設名(利用料金施設)	令和3(2021)年度 (前年度)	令和4(2022)年度
フィールドアスレチック	14,105人	18,489人
そり遊び広場	10,285人	10,963人
テニスコート	8,256人	12,396人
オートキャンプ場	11,533人	14,575人
サンサントワー	7,353人	8,509人
合計	51,532人	64,932人

施設名		令和3(2021)年度 (前年度)	令和4(2022)年度
緑の相談所	相談件数	116件	180件
	催し物回数 (延べ人数)	35回 (23,294人)	45回 (22,800人)
	講習会回数 (延べ人数)	11回 (87人)	15回 (170人)

4 サービス向上に向けた取組

- ・遊具施設や電気・水道設備などの定期的な安全点検を実施し、安全な施設の提供に努めた。特にわんぱく広場やアスレチック施設は、直営の日常点検や定期点検に加え、専門業者による遊具の安全点検を実施し点検結果を踏まえた修繕を施すなど、来園者が安心して利用できる安全な施設の提供に努めた。
- ・花の丘の整備や展望塔付近のクリスマスローズの植栽、郷土の広場花壇、大池花壇、風車花壇を季節の花々で修景するなど、「花の見どころづくり」を進めた。
- ・近隣の千本松牧場とのコラボ企画として、千本松牧場の商品をプール入場者にプレゼントした。
- ・オートキャンプ場では、誰でも気軽に楽しめるクラフトコーナーを設置した。
- ・ホームページやSNS等を活用し、花の開花状況やイベント内容など旬な情報を提供した。
- ・那須地域で盛んな駅伝やマラソンなど、公園を会場にした大会を開催し地域の特性に対応した公園管理運営をすすめた。
- ・安全、安心な公園利用を図るため、施設及び駐車場の利用時間を日没に合わせてきめ細やかに適正な利用時間範囲で運営した。また、施設の利用料金、利用日は利用者のニーズに合わせて設定するなど、サービス向上を図った。
- ・園内全域に及ぶ枯損木や危険木の調査を実施し、その結果を踏まえ、景観の向上と倒木や枯れ枝落下による危険防止を図るための枯損木及び危険木の伐採を行った。
- ・緑の相談所講座の参加者やキャンプ場の利用者からアンケートを取り、管理運営に反映した。また、巡視員の直接聞き取りにより苦情や要望を把握し、適切に対応した。

5 利用者意見への対応

利用者意見の把握方法				
・管理事務所に意見箱を常時設置し、ご意見票を回収 回収件数 68件				
主なご意見票の項目	良い	良い方	あまり良くない	悪い
公園内はきれいでしたか	66.7%	30.3%	3.0%	0.0%

公園の管理状況はいかがでしたか	52.3%	44.6%	3.1%	0.0%
花壇や樹木などの植物の管理状態はいかがでしたか	70.3%	29.7%	0.0%	0.0%
スタッフの対応はいかがでしたか	71.0%	29.0%	0.0%	0.0%
<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページで意見を受付 ・イベントや緑の相談所の講座の参加者へアンケート調査を実施 ・那須野が原公園連絡協議会を開催し、意見・要望を聞き取 				
主な利用者意見（苦情・要望）		対 応		
<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ場でWi-Fiを利用できるようにしてもらいたい。 ・キャンプ場の喫煙所を管理棟の前から他の場所に移動してほしい。 		<ul style="list-style-type: none"> ・検討いたします。 ・分煙措置等の対応を検討いたします。 		
主な利用者意見（積極的評価）				
<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの皆様がとても丁寧でとても気持ちの良い楽しいキャンプが出来ました。 ・日頃のメンテナンスできれいな公園になっていると思いました。 				

6 指定管理者による自己評価

<p>成果のあった取組・積極的に取り組んだ事項・利用者満足度向上への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度における公園利用者数は、コロナによる規制が緩和されたこともあり、270,000人の目標に対し299,397人と目標を大幅に上回る利用者があった。今回の指定期間での最高利用者数となった。 ・新型コロナウイルス予防対策においては、国や県の感染防止対策に準拠した基本的なコロナ感染防止対策を実施しながら、利用者及び職員の感染防止に努め、来園者が安心して利用できる施設の提供に努めた。 ・老朽化に伴うトイレやアスレチック及びわんぱく広場遊具の修繕、並びに展望塔エレベーターの主ロープ交換、キャンプ場のボイラー修繕など、安心・安全に利用できるよう施設の修繕を実施した。また、作業機械等は長寿命化の観点から、できる限り修繕を実施し、延命化を図った。今年度の修繕費は7,686,746円となり、5年の指定期間総額（23,167,000円）を4年目で上回った。 ・自主事業においては、（公財）栃木県民公園福祉協会の50周年記念として、栃木県内在住・通学の小中学生と幼児、並びに障がい者とその付添者を対象にファミリープールの利用料金を減免し、コロナの影響で休業した分の還元と利用促進を図った。また、プールのイベントとして「フラダンスショー」を実施した。好評だったため、追加公演を実施した。 ・地域と協働で実施する「那須野が原ウォーク」においては、コロナの影響で2年間実施できなかったが、那須塩原市、土地改良区連合、田園空間博物館、千本松牧場、東京電力と協働で再開した。参加者には那須野が原の開拓の歴史に触れる機会と牧歌的な風情や紅葉を楽しんでもらえた。 ・広報においては、ツイッターやインスタグラムなどのSNSを活用し、こまめに旬な情報を発信するなど、効果的な情報提供が利用者増に繋がった。 ・植栽管理においては、松くい虫による枯松や正面駐車場周辺のとちの木を伐採し、公園の景観を保持しながら安全で安心して利用できる公園づくりに取り組んだ。 ・バックホーやユニック車を活用し、植栽の植替えや落葉のストックヤードの整理など重機による効率の良い園内整備作業を実施した。 ・全従業員にマナー研修やアンガーマネジメント研修を実施し、利用者への丁寧な接客対応を徹底した。また、作業機械を取り扱う全従業員に作業機械等の安全研修を受講させ、安全管理を徹底した。

公園の魅力をも高める取り組み
<ul style="list-style-type: none"> 花の丘、郷土の広場、大池、風車、キャンプ場の花壇にボランティアと協働で季節の花を植栽し、「花の見どころづくり」に取り組み、来園者を楽しませた。また、「ぐるどち2022」、「いちご一会とちぎ国体」参加者には、プランターやハンギングバスケットを公道や公園入口、公園内に設置したほか、「ウェルカム花壇」を修景し歓迎した。
今後改善・工夫したい事項
<ul style="list-style-type: none"> 人件費や燃料費など、物価の高騰により公園管理費の増大が懸念されることから、多目的な業務に対応できるスタッフの育成や節電、3R（リサイクル、リユース、リデュース）による手法で経費削減に努める。 利用者から好評の「花の見どころづくり」を、引き続き花の丘、郷土の広場、大池、風車、キャンプ場の花壇で展開し、開花状況などをSNS等で発信し、集客を図りたい。 開園して以来30年以上を経過した公園の樹木は、巨木化し景観を損ねているほか、枝同士が重なり落下する危険度が高まっている。枯損木や危険木の調査を行い、計画的な伐採を実施する。 展望塔の利用促進を図るべく、小学生絵画展や写真コンクール作品展を開催するなど、地域住民と連携しながら新たな情報発信基地としての役割を担う施設づくりをすすめる。

7 所管課室による評価

項目	評価の内容	確認内容・所見等	評価
1. 住民の 平等利用の 確保	① 住民の平等利用が確保されたか。	適切に実施されている。	B
	② 使用許可に関する権限が適正に行使されたか。	所定の手続きに則り、適切な許可が行われている。	B
	③ 高齢者、障害者等に対する配慮はなされたか。また、平等利用が確保できない場合の対応は適切か。	高齢者や身障者に対し配慮するなど事業計画書どおりされている。	B
2. 施設の 効用の最大 限発揮	① 施設の設置目的に沿った業務実施がなされたか。	事業計画に基づき、施設の設置目的に沿った業務が実施されている。	B
	② 施設の利用促進、県民サービスの向上が図られたか。	「花の見どころづくり」に取組み来園者を楽しませるよう努めたほか、協会50周年記念事業として県内在住の小中学生を対象にプール料金を無料にするなど利用促進を図った。	B
	③ 利用者満足度を把握し、満足度の向上が図られたか。	利用者の満足度は昨年並みだった。	B
	④ 利用者からの意見、苦情に対して適切な対応がなされたか。	要望・苦情に対して、適切且つ迅速に取組み対応している。	B
	⑤ 施設、設備、備品の維持管理や安全管理は適切になされたか。	日常・定期点検を実施し、その記録が保管されているとともに、管理打合せ簿にて修繕の提案・修繕実施報告され、その修繕履歴が適切に保管されている。また、備品の管理は適切に実施されている。	B
	⑥ 指定管理者の創意工夫により業務改善等がなされたか。	コロナ禍により中止となるイベント・講座等もあったが可能な限り実施した。なお、好評だったプールイベントのフラダンスショーを追加で実施した。	B
3. 管理を	① 組織体制は適正か。	当該業務を概ね適切に遂行できる組織	B

安定的に行 う物的人的 基礎		となっている。	
	② 収支は適正でバランスがとれたものか。	概ね適正である。	B
	③ 経費の縮減に取り組まれてきたか。	事業計画書どおり多目的、多用途に従事するスタッフを配置し人件費を削減するとともに、保険契約等は一括契約を行い経費削減に取り組んでいる。	B
	④ 人材育成は適切に実施されているか。	公園管理に必要な資格の取得や技術と能力を向上するため、事業計画書に基づいた研修を実施した。	B
	⑤ 危機管理体制（事故、緊急時の対応）は確保されているか。	緊急時連絡体制により、関係部署との連絡体制は確保できている。また、異常気象時の対応も適切に対応・報告がなされていた。	B
	⑥ 県や関係機関との連携体制は確保されているか。	県や関係機関と連携し、管理運営を行っている。	B
4. 個人情報保護	① 個人情報の保護についての措置が計画どおり実施されているか。	個人情報の保護に関する要領を定め、適切に保護している。	B
	② 情報公開は適切になされているか。	情報公開事務処理要領を定め、適切に運用している。	B
5. その他	① 施設の特性にふさわしい自己評価がなされているか。	適切な自己評価が行われた。	B
	② 自主事業が計画どおりに実施されているか。	コロナ渦により中止になったものもあるが、可能なものは感染症対策を行ったうえで適切に実施した。	B
	③ イベント等を実施している場合は、地域との連携が図られているか。	千本松牧場とのコラボ企画を実施したほか、那須塩原市、土地改良区連合、田園空間博物館、千本松牧場、東京電力と連携し那須野が原ウォークを3年ぶりに再開し多くの地域住民が参加した。	B
	④ 環境への配慮（騒音・光害対策、ごみ削減等）がなされているか。	公園利用者にはごみの持ち帰りをお願いし、ごみ削減等に努めている。	B
	⑤ その他管理運営上の特記事項	国や県の新型コロナウイルス感染症予防対策に準拠した対策を実施した。 また職員に感染者及び濃厚接触者が発生した場合は、協会で定める「感染状況聴取表」により関係機関に報告した。	B
総合的な評価			
<p>全般的におおむね良好な管理運営状況である。</p> <p>近隣の施設とのコラボ企画を実施したり、ホームページやSNS等を活用して旬な情報を提供する等、サービス向上に努めた結果、当初の目標を上回る利用者数を記録したことにつながったと思われる。</p> <p>また、園内全域の調査を実施した結果を踏まえた景観の向上と倒木や枯れ枝落下による危険防止を図るための枯損木及び危険木の伐採を行う等、丁寧な管理を行うことで、安全で安心して利用できる公園づくりに取り組んでいる。</p> <p>今後とも創意工夫によるサービスの向上に努め、公園利用者数の増加につなげていきたい。</p>			

※「評価」欄には、以下の指標により判定した結果を記載すること。

A：事業計画に対して優れた取組となっている。

- B：事業計画どおりの取組となっている。
- C：事業計画に対して劣る取組となっている。
- D：事業計画に対して著しく劣る取組となっている。